

平成18年度事業計画

財団法人豊田市国際交流協会（TOYOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION：T I A）は、1988年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本の柱とし、地域の国際化を推進してきました。

平成17年に開催された「愛・地球博」は、環境問題のみならず私たちの暮らしのあり方を問いただす契機にもなりました。T I Aは万博の理念を共有し盛り上げていくことが草の根の国際交流の進展に繋がるととらえ、一市町村一国フレンドシップ事業やその他の万博関連事業を積極的に展開しました。

今後さらにグローバル化が進み、海外からの来訪者、外国人市民の一層の増加が予想されます。彼らを気持ちよくお迎えし、共に暮らすことができるまちづくりがますます重要になります。これを受けT I Aは、平成18年度のテーマを「万博を契機として始まった新しい国際化の流れを踏まえ、日本人市民や外国人市民とともに協力し国際化を推進する年」とし、以下を重点実施事項として推進いたします。

- 1．ボランティアの力を一層発揮してもらうために
 - 1) ボランティア登録制度の改善
 - 2) ボランティア交流会開催などによる意思の疎通
 - 3) ボランティアが参加しやすい仕組みづくり
- 2．ボランティアとともに取り組む事業
 - 1) 外国人防災体制の整備（外国人ボランティアサポート制度確立）
 - 2) サッカー大会開催による外国人青少年の健全育成支援
 - 3) 外国人が自国の言葉や文化を紹介するミニ外国語講座の開設
 - 4) 交流と居場所を提供する国際サロン開設の検討

これらの実施にあたっては、ボランティアと手を携え、市や企業やNPOなどとの連携や協働に十分配慮しつつ進めてまいります。

1 交流事業

（1）国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。

- ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）
受入時期：平成18年7月（予定）

イ 桜花学園大学留学生（韓国籍）
受入時期：平成18年11月（予定）

ウ その他、随時検討の上、受け入れる。

（2）おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加する。まつりの体験と相互交流を深めるとともに、おいでんまつりの国際化に寄与する。

開催日 平成18年7月29日（土）

会場 豊田市中心市街地一帯

参加者 外国人・日本人120名

（3）愛・地球博関連事業

愛・地球博を生かした草の根の国際交流事業

愛・地球博を生かした草の根の国際交流事業を推進するため、「実行委員会」を開催し、市民レベルの交流を実施するとともに、将来交流を継続していくための方策を検討する。

ア 草の根の国際交流事業（サッカー、コンサート）の開催

欧州連合（EU）と豊田市の子どもたちのサッカー親善試合を開催することにより、EU加盟国民と豊田市民の理解と友好を深め、市民レベルの国際交流を推進する。

開催日 平成18年5月3日（水）

場 所 豊田スタジアム

イ 草の根の国際交流継続のための検討

将来市民レベルの交流を継続していくための方策を検討する。

内 容 実行委員会の開催

期 間 平成18年4月～平成19年3月

（4）アップウィズピープル日本ツアー受入れ

米国コロラド州デンバーに本部を置く非営利の体験型国際教育団体であるアップウィズピープル（17年度は27カ国から54名が参加）を受け入れ、広く市民に国際交流の場を提供するとともに、多様な文化への理解と諸外国の方たちとの友好を深める。受入時期は10月16日（月）～23日（月）を予定。

（5）その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体と共に開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施する。

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳やホームステイなど国際化の担い手となる人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上と、ボランティア同士の連携を深めるための事業を開催する。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

- ・個人ボランティア
 - 事業企画・推進ボランティア
 - 情報ボランティア（図書整理など）
 - 通訳・翻訳
 - 日本文化紹介
 - ホームステイ・ホームビジット
- ・グループボランティア
 - 交流・支援活動
 - アジア友の会
 - 外国人医療支援グループ
 - 日本文化紹介
 - ほづみ会
 - オープンハート
 - 留学生を支援する会
 - 教育・学習活動
 - Alpha日本語教室
 - 海外生活体験者グループ
 - 日本語サロン
 - 情報収集・提供
 - E - I F F
 - ひらがなういずゆー

イ ボランティア代表者会議の開催

ボランティア活動の活性化と各グループ共通の課題共有と解決に向けて開催。同時に次期人材の育成のため中堅層の参加を求め、T I Aの諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すと共に、新規で登録する人々が定着するような活動環境の整備に努める。

- 開催頻度 年5回程度
- 会場 豊田市国際交流協会
- 参加者 各グループ代表者及び中堅層

ウ ホームステイ・ホームビジット紹介・斡旋

エ ボランティアニュースレターの発行

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活情報を提供する。

発行回数 年3回

発行部数 1,100部/1回

オ 日本語支援ボランティア養成講座（新規）

TIAボランティアグループ日本語サロン及びALPHAで活動する日本語支援ボランティアを養成し、日本語支援ボランティア全体の強化を図る。

開催時期 平成18年9月～11月

会場 豊田市国際交流協会

参加者 日本語支援ボランティアに興味があり、講座終了後はTIAにおいてボランティア活動のできる方

カ TIAボランティアの集い（新規）

普段は活動を別にするTIAボランティアグループのメンバーが集い、それぞれの活動やボランティアに関わる情報を共有するなどし、互いの親睦を図る。また、TIAボランティアに興味のある市民の方が国際交流・協力・多文化共生に関するボランティアについて情報を得、実際の活動へのきっかけとする。

開催時期 平成18年10月

会場 豊田市国際交流協会

（2）国際交流情報の提供、相談事業

国際交流・協力経験者や、ボランティアとしての海外での生活体験者によって、国際交流・協力活動や海外留学、海外生活情報、帰国児童生徒問題等についての情報提供、相談業務を実施する。

（3）外国人多言語相談事業

市を始めとして、各種団体との連携のもと、在住外国人が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりのための基盤づくりを推進する。また、18年度からは、急増する中国出身者に対応できるように、現在土曜日の午前中に展開している標準中国語による相談窓口を平日の午前中にも拡充し、外国人生活相談業務の多言語化を推進する。さらに現在土・日曜日に開催しているポルトガル語相談窓口を祝祭日にも試行的に実施する。

(4) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に、通訳者を派遣する。

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組みが行われている国際理解教育プログラムの相談について、依頼に応じて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進する。また、依頼に応じ市職員や一般市民対象の国際理解教育講座を企画・開催する。

(6) NPO等への協力・支援

市内在住の外国人市民の課題解決に取り組んでいるNPO等は、多文化ソーシャルワーカーとしての機能も担っており、活動を継続するための支援・協力を行うとともに、連絡会議を開催し情報交換及びネットワークづくりを行う。

(7) ブラジル一日領事館

豊田市市民相談課主催である当該事業のサポートを行う。

開催日：平成18年12月3日(日)

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内及び近隣市町村在住の外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施する。

期 間 前期：平成18年 4月 ~ 平成18年 9月

後期：平成18年10月 ~ 平成19年 3月

毎週土曜日

時 間 9時30分 ~ 11時45分

ク ラ ス 入門・にほんご1・にほんご2・にほんご3

会 場 豊田市国際交流協会

参 加 者 前期・後期各60名

(2) 国際理解教育セミナー

人権・平和・多文化・環境といった地球規模のさまざまな問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを狙いとした啓発事業を、参加・体験型のセミナー形式で行う。

また、18年度は参加受入れ定員数を多くした中規模のセミナーを開催し、子どもから大人まで幅広い年齢層が、楽しみながら学べる場を設定するよう努める。

開催頻度 年3回程度（中規模セミナーを含む）
会場 豊田市国際交流協会ほか
参加者 一般市民、教育関係者

（3）第17回地域の国際化「豊田セミナー」の開催

東海地方で活躍する国際交流協会職員、自治体職員、市民ボランティアが集い、時代の要請に対応する多文化共生、国際交流、国際理解教育等に関する新たな課題について考え、課題提起していくとともに情報交換やネットワーク形成の場とする。

開催 平成19年2月
場所 豊田市国際交流協会
参加者 県内外市町村職員・国際交流関係者・ボランティアなど
共催 財団法人愛知県国際交流協会、豊田市

（4）外国語講座

ア 韓国・朝鮮語講座

音楽・映画・ドラマ・サッカーなどを通じ依然として注目度の高い隣国・韓国。本講座では入門レベルの韓国語を学ぶ目的で市民対象に開催する。

開催 平成18年5月19日（金）～7月7日（金）
会場 豊田市国際交流協会
参加者 韓国・朝鮮語に関心のある在住・在勤の市民

イ 中国語講座

市内外国人登録の中で3番目に多く、また増加しつつある中国人の文化理解を図るとともに、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場とするため、市民対象の中国語入門講座を年2回開催する。

開催 前期：平成18年6月～9月
後期：平成19年1月～3月
会場 豊田市国際交流協会
参加者 中国語に関心のある在住・在勤の市民

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルのスペイン語と文化の講座を開催することで市民に対するラテンアメリカ諸国への理解を進める。

開催 平成18年10月～12月
会場 豊田市国際交流協会
参加者 スペイン語学習に関心のある在住・在勤の市民

エ 諸外国語講座（仮称：世界のことばサロン）（新規）

一市町村一国フレンドシップ事業対象国や市内在住の外国籍市民の出身国の言葉に焦点を当て、広く世界各域の文化への理解も図る。新規事業のため初年度にあたる18年度は、試行的に数回実施する。

開 催 平成18年6月～平成19年3月

会 場 豊田市国際交流協会

参 加 者 外国語学習に関心のある在住・在勤の市民

（5）外国人防災体制の整備

外国人サポートボランティア（新規）

東海大地震など大規模な自然災害が発生した場合、外国人被災者に対する相談業務や情報提供の支援について、ことばの面からサポートできる人材の確保と登録制度の整備に着手する。同時に登録ボランティアのスキルアップを狙った研修会も実施する。

開 催 平成18年6月～平成19年3月

会 場 豊田市国際交流協会

参 加 者 日本語／外国語でコミュニケーションができる在住・在勤の市民

（6）その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種芸術・文化紹介事業を類似の団体とともに開催し、研修啓発事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施。

4 情報収集・提供事業

（1）T I A機関誌「サンフラワー」発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行する。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布する。また、今年度は自治区への配布も検討する。

発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）

規 格 A4サイズ 4頁

発行部数 3,000部／1回（平成18年4月現在）

（2）国際理解教育ニュースレター発行事業

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラム等を中心に、この分野に関心のある人々に充実した情報を提供する。

発行回数 年3～4回(随時)
規 格 A4サイズ 2頁
発行部数 2,000部/1回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載する。

発行回数 24回(毎号掲載)
規 格 A4サイズ 1頁
発行部数 146,240部/1回

(4) 図書、ビデオ収集・提供事業

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要とする図書、資料、ビデオ等を収集・提供する。

(5) 各種出版事業

本協会主催の各種事業の内容を要約・編集し、報告書として提供する。

(6) T I Aホームページ外国語版作成(新規)

以前からニーズの多くあったT I Aホームページの外国語版を作成する。英語、中国語、ポルトガル語の3言語作成する。日本語版ホームページとは内容的に差別化を図り、外国人住民向けの情報を掲載する。

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、その後援を始めとして、積極的な支援参加を行う。

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには在住外国人がもたらす豊かな個性を活かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討を進め、提言にまとめ、関係部署と連携、推進する。

ア 多文化共生への提言の展開

外国人集住都市会議、豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、仕組みや法制度の見直しに関する提言の実現に向け取り組む。

イ 外国人子ども支援事業の展開

教育委員会や学校等との連携のもと、外国人児童生徒が国籍や言葉の違いなどで学習に困難を来し、学業を途中で断念しないよう支援する。具体的には、国際（日本語）教室へのボランティアの派遣やT I Aの活動現場から上がった課題を関係機関に提言するなど、環境整備を行う。

ウ 保見団地多文化共生モデル地区事業の推進

在住外国人の集住度の高さと規模で全国的にも注目されている保見団地において、自治区やボランティアグループ等の地元組織、管理者である公団や愛知県、企業、市等と連携をとりながら、多文化共生のまちづくりを推進する。

（２）ボランティア活動活性化のための調査

ボランティア活動を活性化させ、新たな事業展開へ繋げていくヒントを得るためにボランティア活動が活発な、若しくは事務局として先進的な取り組みをしている地域及び組織の調査・視察を行うとともに、T I Aボランティアや市民を対象にした調査等も実施する。

（３）その他の調査・企画事業の取組み

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施する。

7 外国人青少年社会順応促進事業

サッカー大会

外国人青少年に人気の高いサッカーの大会を開催し、スポーツを通じて参加者同志や子どもと保護者が交流する機会を提供し、彼らの健全育成を図る一助とする。本事業は18年度で3年目を迎えるにあたり、事業の意義や次年度以降の実施形態を再検討しながら取り組んでいく。

開 催 平成18年10月

場 所 トヨタスポーツセンター

対 象 豊田市内のブラジル人学校、NPO運営の教室に通う外国人青少年

8 国際交流センター運営事業

地域の国際交流活動の拠点として、国際交流や海外諸国に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場の提供として国際交流センターを運営する。

9 その他 ボランティアグループ活動計画

本年度、以下の活動を計画しており各グループは自立的に活動を推進するが、T I Aは活動環境の整備と必要な個別の支援を実施する。

(1) 国際交流

ア オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネートを行う。

- ・ウエイン州立大学 7月
- ・アップウィズピープル日本ツアー 10月(予定)
- ・桜花学園大学留学生(韓国籍) 11月(予定) など

イ 日本文化紹介

在住外国人への日本文化紹介(茶道・書道・華道・着付け・折り紙等): 随時
T I Aボランティアグループの各種活動への協力

(2) 国際協力

ア アジア友の会

長期化するスマトラ沖地震及び津波の復興支援の一環としてインド・チェンライにあるNGO団体への募金を継続する。さらに市内各交流館などを中心に展開している書き損じはがきの回収とその収益の送金(インドの障害児教育へ充当)を行う。

イ ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座の実施。
6月に(財)三井住友海上文化財団から助成金を得て、タイ各地でオカリナチャリティーコンサートを実施する予定。

(3) 在住外国人と交流・支援

ア 留学生を支援する会

豊田市、及び近隣大学留学生の相談相手(おいでんファミリー)を通じた支援・交流活動。その他、留学生の母国文化を紹介する「留学生ふるさと講座」や「日本文化体験講座」などを実施。

イ E-I F F

英語サロンの開催(年5回)

メディカルガイド改訂版の作成(情報収集、編集、印刷等)

ウォーキングツアーの企画、実施

証明書類等の翻訳

その他随時通訳・翻訳活動の展開

ウ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語(ポルトガル語・英語)表記も含め、提供する。年3回発行。発行部数は各回1,100部。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布

エ 外国人医療支援グループ

外国人子ども健康促進活動(05年度外国人学校健康調査フォロー、検診等)
他域の外国人医療支援グループとの連携

オ 日本語サロン

毎週水曜日の日本語教室開催、学習者のための託児ルーム開設。

開講時期：前期4月～9月 後期10月～19年3月

カ Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業(もちつき、郊外学習)の実施。

開講時期：5月～8月、9月～12月、19年1月～4月 の計3期

(4) 学習・情報提供

海外生活体験者グループ

海外生活サロン(海外の日本人学校の情報を共有する会) 年1回